

コミュニティ静岡

あなたのまちの
コミュニティ活動情報誌

2016
10月
No.144



地元の青少年が伝える三福の三番叟

さんばそう
三福三番叟保存会 (伊豆の国市)

伊豆の国市内の5カ所の神社で奉納されているが、三福の三番叟だけが地元の青少年によって演じられている

▼江戸初期、金山奉行の大久保長安が金山の安全祈願のため三番叟の奉納を始めたと伝えられてる。熊野神社で行われる三福の三番叟は、種まき三番叟と言われ五穀豊穡・子孫繁栄を願い、地元の青少年によって10月の例大祭に奉納される。保存会では、40代~70代の11人の三番叟経験者が、役ごとに青少年の師匠を務め指導している。

▼三役(翁、黒式尉、千代)を演じるのは、当番町の小学校高学年~2、30代の青年。地方(笛、小鼓、大鼓)は三福内の中学生から選出しているが、少子化に加え、小中学生は塾に部活にと忙しいため、この人選が大変である。9月

中旬から地域の方々の応援を得て每晚練習を行うが、全員揃っての練習が難しいのが悩みである。

▼毎年新しい人材を選出することにより、多くの子どもが三番叟に接する機会を持たせている。未永く継承するためにも経験者を多く輩出することが会の務めであり、保存会の存続にもつながる。今後は、保存会の新規会員の会得にも力を入れていく。

◇代表：三枝和則さん (問合せ・0558-76-1824)

【情報提供：三枝和則】

Contents No.144

各地の活動	●伊豆の国市.....1
クローズアップ	●“何にもしない”合宿(裾野市).....2
地域をつなぐ人	●NPO法人フロンティア清沢 大棟鉄雄氏.....3
各地の活動	●伊豆市、静岡市、焼津市、掛川市、湖西市.....4~5
地域訪問記	●お互いさまの心が通う軽トラ市(磐田市).....6
コミねっとから	●キラリッ! コミねっと コミカレ研修スナップ.....7
コミ推協から	●アフター研修会、コミュニティ活動賞など.....8



クローズアップ



みんな揃ってハイ、チーズ！ 東地区コミュニティセンターではほぼ毎月合宿が開催される

富士山をはじめ箱根山、愛鷹山の3つの大型火山の裾野に位置する裾野市のJR裾野駅の東側の地で「東地区おやじの会」による「何にもしない合宿」が行われている。大変ユニークな事業であることから会員の小田圭介さん、大山しげつちさん、小川夕美さんにお話を伺った。

「おやじの会」ってどんな会？

平成10年に東小学校PTAの内部組織として発足。当初は「マス釣り大会」「地引網」「通学合宿」「もちつき体験会」の活動を、「我が子だけではなく地域の子どもたちのおやし」となって行っていたが、もっと子どもと地域をつなげ、異学年との交流や学校や家族以外の人とも接触する機会を増やすことを目的に、同地区の向田小学校の生徒も対象に月1回のお泊まり会「何にもしない合宿」を平成24年9月からスタートした。

現在、「おやじの会」の会員は41人（男女の比率は約3：1）で、小学生の親はもちろん、我が子が卒業しても会員として継続参加している他、合宿経験者の中学・高校生もサポーターとして参加している

「何にもしない合宿」って何？

事業名のとおり、大人が特別なことを「何にもしない」ルールである。子どもたちは、夕食とお風呂を済ませ寝袋を持参してやってくると、消灯時間まで自由な発想で大人やお兄さん、お姉さんと遊び・学ぶことができ、人の集まる場となって

いる。ただし、3つの約束「①ケガをしない」「②ケンカをしない」「③21時になったら寝る努力をしよう」だけは守ってもらう。

9月10、11日（18時30分～7時30分）に開催された第37回目の合宿には、小学生109人、未就学児3人、スタッフ側は、中学生サポーター21人、高校生6人、大人24人、計163人の多くの人たちが参加した。

東地区の未来を見据えて

両小学校の児童数は約800人、そのうち1割程が毎回合宿に参加している。「子どもたちは大人の名前を覚え、合宿以外でも声を掛けてくるようになる。合宿が地域と触れ合



中学生サポーターの皆さん

う入口になり、このような機会を経験している子どもが社会人になれば地域は絶対に変わってくる」と小田さんは言う。

昨年度から合宿経験者の中学生をスタッフとして受け入れるサポーター制度を始めたところ、本年度は60人が登録し共に活動している。中学生を受け入れることには、将来の東地区を担う若者の心を地域から離れさせたくないという想いがある。

今後、自治会などのより小さな単位で開催できればもっと幅が広がるのではないかと会では考えている。

継続のカギ

企画や規則を細かく決めず、SNSを使い情報を共有することで定例会などを減らすなど、気軽に参加できる雰囲気而努力している。

学校や地区の理解もあり、お互いに信頼関係で結ばれているので、子どもと地域の架け橋の場として、将来的にも非常に楽しみである。若きおやじたちの意気込みが熱気を帯びて伝わってきた。



ロビーや体育館で思いのままに過ごす子どもたち

◇代表:小川貴義さん(問合せ・090-1733-1382(小田))
【情報通信員・小田圭介】

レポート・鈴木孝治 編集委員

■地域をつなぐ人

自立した地域づくりを目指して

NPO法人フロンティア清沢 大棟 鉄雄 氏



清沢のこと

静岡市葵区清沢地区は、静岡市の西北部に位置し、榛原郡川根本町と接していて、静岡市街地からは約20km弱、車で40分程の距離にあります。お茶と林業が主な産業で面積の90%は山林ですから緑一色の中に家が点在している風景を想像して下さい。

活動の始まり

近年、耕作放棄地が増えていますが、清沢地区の人口減少はすでに高度経済成長期から始まり、昭和58年に、清沢に元気を取り戻すにはどうしたら良いのかと話し合いの場を設けました。翌年「清沢地区振興会」が発足し、「清沢ふるさと祭り」を開催しました。その後、平成16年開設の交流施設「きよさわ里の駅」の運営や過疎地運送事業「やまびこ号」の運行を行うため「清沢地区振興会」を発展的に解消し「NPO法人フロンティア清沢」を設立。地域の課題解決を自分たちで行いできる限り自立した地域づくりを目指しています。

活動の積み重ねが次世代につながると信じて

地域おこし活動の難しいところは、終わりがいいことです。後継者をつくることの重要性はよくいわ

れますが、どの組織も世代交代には苦勞しているのが実情です。最近、後継者づくりはあまり気にしないで、現在の担い手が中心となり地域課題の解決の取り組みを継続するしかないと思っています。次の世代を信頼して精一杯日々の活動を積み重ねていく事の大事さを痛感しています。

自立した地域、活力ある地域に!

今後は、稲作体験やジャガイモ掘り、こんにやく作りなどの農山村景観や農業を生かした都市部との交流事業等を継続して行い清沢の魅力発信を行っていきます。しかしながら他団体と行事がダブっているものが多々あり、清沢地区として活動の一元化も考えていかなくてはなりません。

また、地域活動を永続していくためには将来の担い手の確保が課題ですが、今までボランティア活動に負うところがほとんどでした。活動資金が確保され若干でも活動対価に充てられればモチベーションアップにつながると思います。そのためにも耕作放棄地解消を目指した「清沢レモン」栽培による6次産業化も目指していきます。

まちから・むらから

各地の活動

伊豆市



火を囲み踊る中学生たち

土肥っ子の集い!大キャンプファイヤー 土肥地区PTA

▼土肥地区にある全ての学校が参加する「大キャンプファイヤー」は、土肥地区の宝である海辺で地区の宝である子どもたちを中心に世代を超えて皆が集い、地域愛の醸成と楽しい思い出をプレゼントすることを目的にPTA役員とOBたちの提案で始まった。
▼特徴は、土肥地区の園児、小、中、高校生、駿豆学園利用者が参加していること。中学生が中心となり、小学生や幼児と手をつなぎ歌やダンスを踊る。

高校生も手伝いをしながらイベントに参加し、地域の方々がその光景を見守る。
▼全員で海岸清掃を行った後に、火の神に扮した校長先生方の点火でキャンプファイヤーがスタート。O×ゲームで土肥温泉無料入浴券をゲットで、盛り上がりは最高潮!歌って、踊って、夕焼けに包まれながら、今年は、総勢500人以上が集まり、伊豆市唯一の土肥の海で楽しいひと時を過ごした。地域コミュニティを大切に土肥地区ならではのイベントである。

◇代表:佐藤健一さん(問合せ 0558-98-1735)

【情報提供・小長谷順二】

静岡市

祭りで生まれた横の連携と世代間交流

用宗活性化協議会

▼用宗活性化協議会は、用宗を何とかしたいという思いを実現するため、「地域を知る、地域を伝える、地域がつながる」を念頭に活動している団体である。
▼用宗には複数の地域団体があるが、それぞれ個別に活動し団体間の横の連携ができていなかった。そこに新たなイベント「もちむね向井水軍まつり」が計画され個別に活動する団体が一堂に会してワークショップを行い、世代を超え協働作業を行うことで、団体間の意思の疎通が図れるようになった。
▼第1回水軍まつりの成果は、「世代間交流」ができたこと。特に町民総踊りには、幼児から94歳まで世代を超えた参加者があり一人暮らしの高齢者からは、「久しぶりに外に出て楽しかった」など町民から高い評価を得た。

▼10月9日に開催される「第2回もちむね向井水軍まつり」は、水軍をキーワードに「甲冑仮装コンテスト」、「水軍ウォーク」「しらす干し目当てコンテスト」など用宗ならではの祭りを計画している。



自作の段ボール甲冑で行進

◇代表:石田英亀さん(問合せ・054-259-2144)

【情報提供・内山和俊】

焼津市

伝統行事でつながる地域

中島燈籠保存会



高さ15m以上ある燈籠

▼大井川地区中島に伝わる燈籠は、明治の中頃お盆の迎え火、送り火、虫送りの行事として始められ、今日では中島の保存会が唯一残っている。戦時中は一時中断するも、昭和55年に有志により復活。昭和61年には地域で行う盆行事として保存会が発足し、現在、自治会全世帯(204世帯)が会員となっている。毎年8月14日の夕方に自治会と子ども会が協働し合同開催している。

▼伝統行事を次の世代に継承するには、いかにして興味をもって参加してもらえるかを、いつも考えている。以前は子どもたちには麦踏にも参加してもらったが、時代の流れとともに変わり、現在では麦わら詰めやポスターの製作を担当してもらい、幼い頃から何らかの形で携わることを大切にしている。こうした作業を通じたふれあいは、地域の繋がりをより強くし、子どもたちにとって地域の様々な人との出会いは、社会教育や人づくりの場にもなっているはずである。

◇代表:曾根正紀さん(問合せ・090-9188-4588)

【情報提供・関 富美子】

各地の活動情報

●掛川市



気合の入った練習風景

シャキッと踊って人生充実!

踊らまいか

▼踊らまいかは、掛川市原田地区に住む40～60代の踊り好きな女性15人が、「楽しく踊って若返る」をモットーに、よさこい踊りを通じて健康づくりを目指している。

校の運動会へ一緒に参加するようになり、子どもたちと仲良くなるきっかけになった。小学校の方では、3年生が毎年敬老会でよさこいを披露して地域交流を広げている。

▼月2回の練習では、鳴子を鳴らしながら威勢よく掛け声を掛け、飛んだり跳ねたり楽しく踊ることでストレスを発散。練習を重ね、全員の息が揃うと鳴子がバチッと決まり気持ち良く達成感があり、年々自信が付きいい汗をかきながら皆で楽しんでいる。

◇代表：草賀三紀子さん

【情報提供・柴田清一】

▼3年前、地区の文化祭や敬老会で披露したところ、踊りを見た原田小学校の先生から「子どもたちによさこい踊りを教えてくれませんか」とお願いされ、小学

●湖西市

お月見コンサート始めました

浜名地区明湖会

▼湖西市浜名地区には2つの自治会があり、その下に6つの町内会がある。今年6月、青少年健全育成を中心に住みよいまちづくりと町内会の連携強化目的に6町内会参画の浜名地区明湖会が発足し、地区内交流のきっかけ作りにと、9月17日にお月見コンサートを企画した。

いる。また、イベントを開催するだけでなく、声掛け運動や交通整理など、日常の活動も考えている。町内の枠を超えて子どもを中心とした活動を行うことで地域のつながりを深めていきたい。



ご当地アイドルの登場で盛り上がった

▼ご当地アイドル To-To-Me やチンドン屋さんの演奏を聞きながら中秋の名月を楽しむ。最後は参加者全員が輪になり、豊田佐吉のふるさと音頭で締めた。テント張り、照明、音響設備は壮年会や町内会が担当。地元婦人会が餡を手作りし600本の団子を用意した。

◇代表：荻野幸宏さん（問合せ・053-594-2200）

【情報提供・荻野幸宏】

▼今後は、町内会の1つ大倉戸町内会の伝統行事の見学会、地区の子どもが一堂に集まった豆まきなど考えて

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（アドレス <http://www.sizcom.jp>）

No	市 町	活 動 名	主 催 者	月 日	場 所
1	東伊豆町	食農教育を中心とした地域と農業の活性化	JA伊豆太陽青年部稲取支部	不定期	東伊豆町内
2	伊豆の国市	地域の有志で再生！大仁中学校の梅園	三福夢づくり会	中学生と梅ジュースづくり平成28年6月2日(木) 管理：通年	伊豆の国市立大仁中学校
3	沼津市	菖蒲の花を中心に休耕田を花畑に	コミねっと大平	月 約2回 日曜日	大平地区内
4	御殿場市	唄っている人ほど長生き！	旅カラオケ歌謡教室	月 2回	市内各コミュニティセンター
5	富士市	地域のつながり、おしゃべり隊	サロンみとしま	月 1回 13:00～15:00	水戸島下区公会堂
6	島田市	伊久美河川看視活動	伊久美コミュニティ委員会河川看視部会	毎年7、8、9月の3か月間	伊久美川流域
7	菊川市	河城剣道30周年記念式典	河城剣道スポーツ少年団	創立30周年記念式典 8月6日(土)	河城小学校
8	菊川市	鮎鱈のつかみ捕り	和田緑を守る会(友漁会)	年 1回 平成28年8月14日(日)	菊川市和田公園付近の水路
9	湖西市	浜名湖おんばく2016秋	浜名湖おんばく2016秋実行委員会	平成28年10月24日(月)～11月13日(日)	新居関所周辺及び鷺津ときわ地区周辺
10	湖西市	人形に感謝し供養祭	新居地区連合自治会	年 1回 平成28年7月17日(日)	あらい商工葬祭協同組合

地域訪問記

お互いさまの心が通う軽トラ市

みなみくり
南御厨地域づくり協議会 東新横丁部 (磐田市)

県西部に位置する磐田市は、17万人を超える県内有数の工業都市だ。今回訪問した南御厨地区東新町は、40年前にできた戸建て住宅と集合住宅を要する1123世帯の新しい町だ。田園地帯に囲まれたのどかな町の一つだが、決定的に違うのは20.3%が外国人だ。この地域のまちづくりの極意を南御厨地域づくり協議会会長の藤原孝一さんと副会長の杉田友司さんに伺った。

地域訪問記



ラジオ体操で始まる朝市

なぜ軽トラ市？

毎月第3日曜日は磐田市多文化交流センターの緑地が大変な賑わいをみせる。ラジオ体操に始まり、野菜やシラス、外国人居住者の郷土料理の提供、マジックショーなどが繰り広げられている。

東新町にあった下水浄化センターの跡地活用と地域おこしの起爆剤として「軽トラ市」の提案を平成19年に行った。その背景として、市内でも突出した外国人共住率で言葉、風習の違いにより日本人居住者と軋轢が生まれるなど、東新町がかかえる地域問題があったのだ。現在、集合住宅には40%を超える居住率である。杉田さんはどうしたら文化の違う人々と共生できるのかを模索した。それが「軽トラ市」なのだ。

粘りつよく、時間をかけて説得する

新しい取り組みには困難はつきものだ。提案するも、市から跡地使用許可が下りなかったうえ、地域での合意形成も得



マジックショーや餅つき等イベントも開催



多文化交流センターの行事にあわせて開催。毎回約300人が来場

られなかった。「軽トラ市はあくまでも手段であって目的ではない。地域コミュニティ形成のためには人を集めなくてはならない。人が集まれば会話が生まれ交流ができる」と藤原さんの粘り強い奮闘が始まる。機会をうかがいながら再提案をし、地域でくり返し話し合いがもたれ、跡地は諦め場所を変更するなど、最初の提案から6年をかけて実現にこぎつけた。こうして生まれた「軽トラ市」は「東新横丁朝市」と名付けられ「まずはやってみまいか！」と出発した。

顔の見える町づくり

「軽トラ市」は南御厨地域づくり協議会の8つある部会の1つ東新横丁部それ自体なのだ。軽トラ市出店者、地域ボランティア団体、地域保育園、実行委員会が東新横丁部メンバーとなり赤いエプロンがメンバーの証となっている。藤原さんも杉田さんも「地域の顔の見える関係が大切。お互いが認め合う事が大切でギクシャクしたら町のためにならない。楽しみながらやるのが地域づくりの柱になる」と語る。今では、外国の方々と相互理解だけでなく、希薄になってきている住民同士のふれあいの場としての意味あいも大きい。南御厨地区のスローガン「お互いさまの ころが通う 南みくり」を心にとめているかぎり理想に近づいていけるのではないだろうか。

◇代表：藤原孝一さん
(問合せ・0538-35-0982 (南御厨交流センター))
【情報提供・羽田栄子】

レポート・中村弘美 編集委員

キラリ!
コミねっと

コミカレ・ねっとわーく会員の活動紹介します!

原虹の会 (沼津市)

～地区のコミュニティ組織に積極的に関わる～

Q、きっかけを教えてください。

A、平成9年、原地区コミュニティ推進委員会が立ち上がりました。(以下、原コミ推委)事務局にコミュニティカレッジ修了者がおりましたので、原コミ推委の会員に、コミュニティについて学んでもらおうと、コミュニティカレッジに送り込みました。平成12年には1度に10人を送り込み、その後コミカレ修了者の会をつくり現在に至っています。

Q、どんな活動をされていますか?

A、主な活動は、地区で開催される行事の準備、受付のお手伝いや運営の参加協力です。会員18人中、半分は原コミ推委の会員でもあるので、何を虹の会にお手伝いしてほしいのか等、スムーズな連携が取れています。

Q、名前の由来を教えてください。

A、虹には7つの色があります。原コミ推委にある各団体にもそれぞれ色があるんです。協力する立場としてそれぞれの団体と融合しながら活動をしていこうと名づけました。

Q、コンスタントに新規会員がいらっっしゃいますね。

A、原コミ推委の会員から人材の一本釣りをしています。人当たりの良い方や地域活動に意欲的に取り組んでいる方はいないかと目を光らせています。(笑)コミカレに参加したら「原虹の会の会員になる」という構図が出来上がっている事が、新規会員獲得につながっています。



協力事業の1つ。夏休み自然観察会「つばめのねぐら入り」

コミカレ
研修スナップ

コミカレ終了!今後の活躍を期待します!

通算37回目となる本年度の「コミュニティカレッジ」が9月24日に終了しました。

今年は、学生が23人受講し世代間交流が生まれました。

修了男性50人、女性10人、計60人が修了し、昭和55年の第1回目からの修了者は、2,198人となりました。これからの地域での活動を期待します。



アイスブレイクの1コマ



班ごとになって意見交換



現地訪問での関連施設見学



第4回目ワークショップの1コマ

コミせん家

のりぎ・りえ



「コミカレ修了者アフター研修会」を開催!

日 時：平成28年11月30日(水) 10:30~15:00
 会 場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 5階 第3会議室
 参 加 費：無料
 参加対象者：コミュニティカレッジ修了者、県市町コミュニティ担当職員、一般希望者
 当協議会へ直接、お申し込みください。
 ※応募の締切りは、平成28年11月10日(木)です。

研修内容

講演：「人口減少社会のいま！」(仮)
 静岡県政策企画部地域振興課

地域活動事例発表(6団体)
 コーディネーター：平田 厚氏
 ・コミねっと会員から3団体
 ・その他県内活動団体から3団体



出張コミカレ in 御前崎を開催!

コミュニティづくりについての知識や手法を学ぶ

日 時：10/22(土)10/29(土) 9:30~15:45
 会 場：御前崎市池新田公民館 受講料：無料
 募集定員：御前崎周辺地域から30人前後
 応募条件：2日間とも出席可能な方
 ★プログラムについては、HPをご覧ください。又はお問い合わせください。
 当協議会へ直接、お申し込みください。



編集・発行

静岡県コミュニティづくり推進協議会
 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
 総合社会福祉会館3階
 TEL 054-251-3585
 FAX 054-250-8681
 URL <http://www.sizcom.jp>
 E-mail sizucom0829@po.across.or.jp

コミカレ・ねっとわーく 支部研修会のお知らせ

●東部支部

10月22日(土)
 沼津市戸田地区センター

●中部支部

10月29日(土)
 焼津市大井川公民館

●西部支部

11月7日(月)
 御前崎市佐倉公民館



コミュニティ活動賞募集中!!

応募の対象と条件

- 1、今日的な生活課題、例えば、地域の活性化、高齢者問題や子育て支援、自然環境の保護・保全などの快適な生活環境整備、青少年の健全育成、ゴミ減量やリサイクル活動、国際交流などのテーマに取り組み、生き生きとした明るい地域社会の形成に向けて活動しているもの。
- 2、活動(組織)が発足して、1年以上を経過したものとします。
- 3、平成23年度以降にこの「コミュニティ活動賞」で優秀賞、優良賞を受賞された地区集団については、本年度は応募できません。

賞

- ・優秀賞……賞楯と記念品
- ・優良賞……賞楯と記念品
- ・奨励賞……賞状

発表

平成28年12月初旬
 (応募者に直接通知します)

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ



コミ
推
協
会
か
ら